所属 国際関係学科	職名 准教授	氏名 Lori Zenuk-Nishide		大学院における研究指導担当資格の有無 (有)		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日		概	要	
1 教育内容・方法の工夫(授業	笑評価等を含む)					
国専Ⅱ作文②B 2 方指 ① リサーチペーパーを書く。 ② 学生 ② ライティングスピードを上げる。 ゴー ③ 検定試験の為のエッセーを書く。 上。 ③ エッ エッ		方指導。トピックは② 学生は毎回の授業でゴールを決めて、実上。	方指導。トピックは国際関係に関する内容から出題。 ② 学生は毎回の授業で10分間時間を計って一つのトピックについて書き、自分たちのゴールを決めて、実際のスコアを記録していく。最終ゴールは200字またはそれ以上。 ③ エッセー、修辞的構造、結束装置に注意を払いながら短時間で違ったタイプのエッ			
英語学特殊講義 B ① 英語で模擬国連を行う。国連会議がどのように会議、組織、 国連問題を運営しているかシミュレーションして学ぶ。 ② 外交関係		2007年4月~2008年3月 ① 学生は国の背景を研究し、議題を研究してその国のポリシーピーチ、方針書を書く。国連の規則に沿ってシミュレーショが代表になる国を決める。毎時間授業の一部はシミュレーシーのでは表になる場合でも話したり書いたりする言葉の選択を通ります。 2009年9月~ 1. Teach debate rules and markers for speech writing and states			ってシミュレーションを行う。学生は自分 一部はシミュレーションを行う。 する言葉の選択を通した外交術を指導。	
Oral Presentation (ICC)			3. Research and debate4. Debate and repeat t	to four teams and ha e preparation using he process again with	ave a discussion on topics. powerpoint h students taking the opposite position as on the process and teamwork.	
Model United Nations (ICC)		2010年9月~	current issue in one of skills of negotiating,	the UN bodies. Stu , speech making, dip , and resolution wri	edure of the United Nations to debate a dents representing a country will learn plomacy, cooperation, position paper ting. Students will participate in the tions.	

ティームティーチング	2007年8月~2009年8月	① 講義、ビデオ、デモンストレーションを通して様々な違った結果に関して、ティー
(1) ティームティーチングの色々なモデルを学ぶ	2007年8月~2009年8月	
② 学生自身がティームティーチングをプランし、教え、評価す		② タイムマネージメントに加えて様々な立案と評価のモデルを紹介。
ることに必要なステップを考察する。		③ 様々なモデルを使いながらお互いに先生、学生、観察者役になってミニレッスンの
③ モデルを利用したティームティーチングを実演する。		ティームティーチングを行う。
④ ティームティーチングアクションインクワイアリー。		④ 学生が自分たちの教育現場において action inquiry の PAOL 理論(Preparation,
		Action, Observation and Learning)を使ってクラスルームリサーチをデザインす
		3.
アカデミックライティング	2007年4月~2009年3月	
① コーパス研究に基づいた論文の質的、量的分析。		を見て、どのように論文が書かれているか分析する。学生はデーターセットを完了
② クラス内でのリサーチプロジェクト。		し、基準に沿って論文を書く。専門家による評価も使用する。
		② クラスでリサーチプロジェクトをデザインし、ファイナルプロジェクトとして査読
		を行う。
スピーチコミュニケーションB	2007年9月~2009年3月	① 毎回の授業で学生は教師役になり、学習者と観察者は子供のための英語を使用する。
① 英語で子供たちの英語活動を指導。		教師はレッスンと使用する言語を準備する。
② 様々なアクディビティ指導の経験。		② 幼児のためのストーリーテリングを毎週行い、自然に反応するような違ったアクテ
③ 他の科目と言語の統一。		ィビティーを行っていく。
		③ 学生が学んでいる第一言語の内容と共に授業で核となるアクティビティーを計画し
		教える。
卒業論文指導「第1」	2008年4月~2009年3月	① 定義とサービスラーニングサイクルを理解。
① サービスラーニングについて学習。		② NGO、経験あるスタッフから学ぶために質問するテクニックをグループ練習し、どん
② NGO とボランティアセンタースタッフと話をする。		なボランティアサービスが利用できるかについて学ぶ。
③ グループサービスラーニングプロジェクト。		③ 学生個人のプロジェクトをモデルとして一緒に経験的なグループプロジェクトを行
④ 学生はボランティアを行う。		5 .
⑤ データー収集とリフレクション。		④ 学生は自らボランティア先を決定し、短期間または期間を延長して NGO 又は NPO で
⑥ 質的研究のペーパーライティングの技術習得。		ボランティア活動を行う。
		⑤ サービスラーニングについてのデーター収集の仕方を指導し、毎週授業で発表させ
		ప ం
		⑥ 同分野の専門家による査読と共に英語でのリサーチペーパーの書き方示す。
		C - 101-10 - 01-01-01-01-01-01-01-01-01-01-01-01-01-0

卒業論文指導「第2」	2009年4月~	① Outline Writing
Qualitative thesis writing using a service learning framework		② Background research
		③ Method writing
		④ Results analysis and writing
		⑤ Introduction writing
		6 Discussion, references and table of contents writing
2 作成した教科書、教材、参考書		
国専Ⅱ作文②A 2	2007年4月~2008年3月	① 各回の授業におけるトピックをプリント作成。
国専Ⅱ作文②B 2		② 左記著書から関連部分を紹介し、内容理解の深化及び発展を促進した。
様々な課題のプリント作成。		
英語学特殊講義 B	2007年4月~2008年3月	方針説明書、スピーチ、決議案、修正案の書き方の手続規則の要点を述べる。Wiki は決
リーディングパケット、ウィキ、ブログ。		議案を書くために bloc として使われ、blog は方針説明書を共有するために使われる。
		インターネットとビデオは参考資料として使用される。
ティームティーチング	2007年8月~2007年8月	リーディングパケットを学生に与え、モデルティーチャーのティームティーチングは
リーディング・タスクパケット、DVD。		DVD で見る。
アカデミックライティング	2007年9月~2008年3月	分析課題と共に分析研究のリーディングパケットを学生に与える。
リーディングパケット、タスクアウトライン。		
スピーチコミュニケーションB	2007年9月~2008年3月	様々なリーディングを使用して、学生はテーマに関連した内容を教える。授業はビデオ
リーディングパケット、タスクのプリント。		撮影する。
卒業論文指導「第1」	2008年4月~	サービスラーニング、データー収集、分析と修論執筆リーディングパケットを学生に与
リーディングパケット。		える。
卒業論文指導「第 2」	2009年4月~	サービスラーニング、データー収集、分析と修論執筆リーディングパケットを学生に与
リーディングパケット。		える。
ICC オーラルプレゼンテーション	2009年9月~	Debate text, research material to support debate; public speaking and powerpoint preparation feedback.
ICC Model United Nations	2010年9月~	Model United Nations Rules of Procedure; research.
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
1. Research on Vocabulary Acquisition at Kyoto Gaidai Nishi	2006年1月	単語量、難解度、流暢さ、モチベーションの増加と、ストラテジートレーニングを行う
High School SELHi Conference 京都外大西高等学校.		ためのカリキュラムをデザインするためにコーパスに基づいた研究を使ったアウトライ
		ン。

2. Building Vocabulary Through Intensive Word Study and	2006年5月	どのように多読が単語量、難解さ、流暢さ、モーチベーションを増やす為に高頻出単語
Extensive Reading Colloquium on Extensive Reading Macmillan		の集中学習と連合しているかを3年目の研究の一部として概説し、根拠、デザイン、マ
Publishing, Kyoto Nishi High School and Kyoto University of		ネージメント、1年目の研究結果を発表。
Foreign Studies 京都外大西高等学校.		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
3. Literature, integrating text across skills through "Whale	2006年9月	技術と反対に文学単位に融合した完全版小説を使った根拠を紹介。シラバス、インプッ
Rider" Kyoto Gaidai Nishi High School SELHi Colloquium 京		ト、アウトプットクラス、アセスメントについて概説。教育方法についてビデオクリッ
都外大西高等学校.		プを使いながら説明。
4. Scaffolding in Content-based Units 関西大学英語指導の開	2006年10月	コンテントベースを使用して、足場はプロセスとプロダクトを見ながら例証された。例
発ワークショップ '06 日本の学校でコントラストベースの英語		はシラバス、インプット、アウトプットタスクから生み出した。
教育はどこまで可能か? Kansai University, Takatsuki.		
5. A Human Rights Unit JALT PAC Conference, Kyoto University	2007年10月	問題、原因、影響、解決に焦点をあてた人権に関する学習単位に基づいた4技能につい
of Foreign Studies, Kyoto.		て発表。
6. Vocabulary Acquisition in English as another Language Kobe	2007年10月	英語で学ぶために最も重要な単語は何か、研究成果に基づいた勉強の仕方を説明。
City University of Foreign Studies Public Lecture Series,		
Kobe.		
7. Situation Cards and Communication Abroad JALT#33	2007年11月	留学中に生徒に自信を持たせ、コミュニケーション能力を育成させる手助けをするため
JALT International Conference, Tokyo.		に、どのように教育者が自分たちの教室内でシチュエーションカードを使うことできる
		かプレゼンテーションを行った。
8. Study Abroad and Students' Perceptions	2007年11月	65 名の日本の高校生が感じた出発前カリキュラムと、短期留学の経験を分析した7ヶ月
JALT International Conference, Tokyo.		間の研究について発表。
9. Seeding Conversations, Kobe Assistant Language Teacher	2007年11月	教師がコミュニケーションを円滑に行うようにする事に焦点をあてたティームティーチ
Mid-Year Conference Kobe Board of Education, Kobe.		ングのワークショップを開催。
10. Content-based Learning International Relations Forum	2007年12月	理由付けと大学という環境においてどのようにコンテントベースドプログラムの語学学
Presentation at Kobe City University of Foreign Studies, Kobe.		習を実行するかを学生と教員向けに行った発表。
1 1. Doing a Model United Nations IATEFL Conference, Exeter	2008 年 4 月	国の背景、議題、ポリシー、規則など、模擬国連のシミュレーションをどのように行う
England.		か説明。
1 2. Team Teaching: What, Why and How Kobe City Board of	2008 年 8 月	神戸市小学校教諭を対象にしたティームティーチングのプレゼンテーション。
Education Summer Program University of Foreign Studies, Kobe.		
13. Faculty development Workshop on Reflective Practice.	2009 年1月	本大学教員を対象にした inquiry cycle のワークショップ。
University of Foreign Studies, Kobe.		

1 4. Simulation thesis: an intensive accelerated approach to writing for graduate students. EATAW Conference, Coventry University, Coventry, England.	2009 年 6 月	Outlined an experiential learning approach to EFL teaching students who are practicing teachers how to write a thesis.
1 5. Simulation thesis: an intensive accelerated approach to writing for graduate students. JALT International Conference, Shizuoka.	2009 年11月	Outlined an experiential learning approach to EFL teaching students who are practicing teachers how to write a thesis.
1 6. Differences in how Literature is Taught in Japanese Junior and Senior High School. Re-Orienting English: Paradigms in/of Crisis, International Conference. National Taiwan University, Taipei, Taiwan.	2009 年 12 月	Outlined differences in approaches to teaching literature in Japanese schools using readings on the same text.
1 7. A Case Study of Two Approaches to Using Literary Texts in ELT in Japan. Advances in the Sciences of Language and their application to Second Language Teaching Conference Segovia, Spain.	2010 年 3 月	Outlined differences in approaches to teaching literature in Japanese schools using readings on the same text.
1 8. Model United Nations Workshop JALT International Conference Nagoya, Japan.	2010 年 11 月	This workshop went through all of the procedures of a Model United Nations with participants representing countries. Background information on countries and an agenda were given to participants.
1 9. Doing Gender and Ethnicity* An Analysis of Ministry of Education Approved ELT Textbooks in Japan and Germany Worldwide Forum on Education and Culture, Rome, Italy.	2010 年 12 月	This was a critical comparative analysis of gender in textbooks form two different EFL countries.
2 O. Demonstrating Service Learning Through a Qualitative Research Writing Project, International Conference Learner Teacher Autonomy, Mumbai India.	2011 年1月	A model of how service learning is used for research paper writing was outlined.
2 1 . Repositioning Literary Texts for ELT, 4 th Annual Conference on Literature, Languages and Linguistics. The Athens Institute for Education and Research (ATINER), Athens, Greece.	2011 年7月	An argument for why literary texts need to be a part of ESL/EFL curriculums.
 2 2 . Vocabulary Acquisition Through Intensive Word Study and Intensive Reading, 4th Annual Conference on Literature, Languages and Linguistics. The Athens Institute for Education and Research (ATINER), Athens, Greece. 	2011 年 7月	Qualitative and quantitative data was shared on data from a high school reading program that included vocabulary study of the most frequently used words.

2 3. 演劇活動を通した方言指導の実践-交換留学生を対象に- Exploring on Pedagogical Japanese Grammar and Teaching for	2011 年8月	Qualitative data was shared on a drama project in the curriculum with peer support from native speakers of Japanese.
Communication CAJLE (カナダ日本語教育振興会), Regina, Canada		
2 4 . Model United Nations builds self confidence, 第 37 回 全国語	2011 年 11 月	Described the results of a quantitative study on self-efficacy with Model United
学教育学会 JALT Conference, Tokyo.		Nations.
2 5. Model United Nations simulation in the classroom, 第 37 回 全	2011 年 11 月	An experiential workshop on Model United Nations; rules and procedures.
国語学教育学会 JALT Conference, Tokyo.		
2 6 . Integrating Literary Texts into ELT Curricula, X Annual World	2011 年 12 月	Described how literary texts can be and are integrated into curriculum in Japan
Wide Forum on Education and Culture, Rome, Italy.		and European countries.
2.7. Autonomous Learning in an Imagined International Community:	2011 年 12 月	Outlined how Model United Nations is autonomous learning.
Model United Nations, X Annual World Wide Forum on Education and		
Culture, Rome, Italy.		
28. Literary Texts in ELT. Osaka JALT Back to School, 2012	2012 年 4 月	A workshop looking at communicative language teaching in readings in Japanese
Osaka Gakuin University, Osaka.		junior and senior high school textbooks.
29. The Japan English University Model United Nations. Osaka	2012年4月	The Japan University English Model United Nations was described.
JALT Back to School, Osaka Gakuin University, Osaka.		
30. Model United Nations Workshop, Doshisha Univerity, Kyoto.	2012年6月	Model United Nations Workshop on rules of procedure for JUEMUN and caucusing ion
		English to Kyoto Model United Nations Branch members.
31. Willingness to Communicate Research. Temple University,	2012年6月	Recent research in Willingness to Communicate was outlined and research questions
Osaka.	0010 5 5 5	were explored.
32. Literary Texts can be Taught Communicatively Using	2012年7月	Described how three different literary texts were used in Japanese schools.
Authentic Texts in Secondary School. 11th Seminar for English		
Language Education, Kansai University of International		
Studies, Amagasaki.	0010 5 5 5	
33. Autonomous Vocabulary Learning and Assessment through	2012年7月	Explained how word cards were used in a high school to study high frequency
Word Card Study. 11 th Seminar for English Language Education,		vocabulary and how assessment was done. Results of a three year study were shown.
Kansai University of International Studies, Amagasaki.		
34. Teaching and Assessing Genres of Interaction: A	2012年7月	Explained the context-independent interaction instrument and showed how it can be
Context-dependent		used for diagnostic and summative assessment of discussion.
Interaction Instrument (CDII). Genre 2012, Carleton		
University、 Ottawa, Canada.		

35. Literary Texts in Japan: A Comparative Analysis. 第 38 回全国語学教育学会 JALT, Hamamatsu.	2012年10月	Compared differences in communicative language teaching units using literary texts on the same topic. MEXT approved materials and those made by teachers in a course were analyzed.
36. The Benefits of Model United Nations (MUN) Simulations	2013年5月	Benefits of Model United Nations for learners.
JALT Pan Sig Forum, Nagoya.		
37. Model United Nations Simulations and Learner Development	2013年6月	Model United Nations and self-efficacy
Kansai International University Conference, Amagasaki.		
38 Teaching and Assessing Genres of Interaction, ASFLA,	2013年10月	An instrument for testing interaction that can be used in discussion and
Melbourne.		negotiation.
39. Benefits of Model United Nations Simulations 第 39 回 全国語学教育学会 JALT, Kobe.	2013年10月	Benefits of Model United Nations
40. Problem-based experiential learning: JUEMUN 7 th GILE Sig Forum 第 39 回 全国語学教育学会 JALT, Kobe.	2013年10月	Model United Nations as problem-based learning
41. Summer Seminar 2014:KUIS 13 th Conference on Language	2014年7月	What is the Japan English University Model United Nations? A presentation
Teaching and Learning		explaining what is involved in the simulation.
42. Model United Nations Workshop Fukiai High School	2014年7月	A 2-day Model United Nations Teacher Training Workshop
43. AILA 2014 World Congress on Applied Linguistics, Brisbane	2014年8月	Describing and Assessing Negotiation in Spoken Interaction
Australia		as part of the session on Discourse Analysis.
43. York St. John Univerisity LIdIA Workshop Intoductory	2014年12月	The topics were: "Are we teachers of English or English as a lingua franca?
Speaker		: Breaking away from "Non-native English teachers" myth and heading for Japanese
		students' and our communicative competence in English"
44. Faculty Development Seminar Kitakyushu University	2016年6月29	Active Learning with a Focus on Model United Nations
45. Hyogo Board of Education Plenary Speaker on Team Reaching	2016年 11月 17	Team Teaching and Team Learning
46. Hyogo Board of Education Panel on Model United Nations	2016年 12月9	Benefits of Model United Nations for Students
47. Faculty Development TESOL EVO Webinar Italy	2017年2月6	Model Un Simulations in the Flipped Classroom
48. Faculty Development Seminar Kobe University	2017年3月6	Participating in National Model United Nations
49. What is the Japan University English Model United Nations?	2015年5月17	An introduction to The Japan University English Model United Nations.
Other Courses taken, Grants Received; Community Work		

SIT Teacher Training and Development Institute	2007年6月	ティーチャートレーニングコースで、4クラスを修了。
GP Theatre Program for Local Children Organizer	2007年8月	チームで40名の小学生を大学に招き英語ミュージカルを行うために、1週間のシアタープログラムを運営。
Ashiya International School Guest Teacher	2007年10月	国際関係学科からゲストティーチャーとして参加し、模擬授業を行った。
Imagine Peace Model United Nations Conference	2007年10月	京都外大で開催された模擬国連国際計画の神戸外大生のためのアドバイザー。
#33 JALT Graduate School Show Case Advisor	2007年11月	同僚と共に、大学院生が彼らの修士論文について英語で発表するための指導。
Taisanji Elementary School Team Teacher	2007年11月	神戸外大教員と共に、小学校でティームティーチングによる授業を行う。
Kenkyuhan 2008-2009 Principal Investigator	2008年3月-2009年9月	This is "Phase 1" of a project examining the communicative strategies that are used in Model United Nations simulations by native speakers and highly proficient non-native speakers
Ashiya International School Guest Teacher	2008年6月	国際関係学科からゲストティーチャーとして参加し、模擬授業を行った。
SIT Teacher Training and Professional Development Institute	2008年6月	ティーチャートレーニングコースで、4クラスを修了。
SIT Teacher Training and Professional Development Institute	2008年6月	ティーチャートレーニングコースを6コース修了した為、ティーチャートレーニングデベロップメントの修了証書を授与。
GP Theatre Program for Local Children Co-organizer	2008年8月	チームで 40名の小学生を大学に招き英語ミュージカルを行うために、1週間のシアター プログラムを運営。
#34 JALT Graduate School Show Case Co-advisor	2008年11月	同僚と共に、大学院生が彼らの修士論文について英語で発表するための指導。
GP Symposium New Perspectives in Teacher Development: Reflection and Interaction for Change	2008年11月	会議運営。
本応募研究課題】基盤研究 (C) (一般) (2009~2012) Co-Investigator	2009年4月-	文学を取り入れた英語教材・教授法の開発一革新的な英語教育を目指して
DuEMUN-RuhrMUN 2009 - International Workshop	2009年6月	RUHR Model United Nations International Workshop Participant: "Perceptions and
Duisburg-Essen University, Germany		Reactions to Risks and Crises by Societies and States: Climate Change, Global
		Financial Disorder and Political Instability. Similarities and Differences of
		Regional Perspectives: Asia and Europe
#35 JALT Graduate School Show Case Co-advisor	2009年11月	同僚と共に、大学院生が彼らの修士論文について英語で発表するための指導。
Habitat For Humanity NGO (Mumbai, India) Advisor & Volunteer	2010年3月	Facilitated 15 students to volunteer with NGO Habitat for Humanity
		building three homes for people who live in poverty.
#36 JALT Graduate School Showcase Co-advisor	2010年11月	同僚と共に、大学院生が彼らの修士論文について英語で発表するための指導。

Kenkyuhan 2010-2012 Principal Investigator	2010年3月~2011年9月	This is "Phase 2-" of a project examining the communicative strategies that are used in Model United Nations simulations by native speakers and highly proficient non-native speakers
Japan University English Model United Nations (JUEMUN) Chair	2011年11月	Co-organized the JUEMUN a 2-day Model UN in Nagoya at the International JALT conference
Harvard World Model United Nations Observer	2011年3月	Observed the University Model United Nations with 2,200 students from 65 countries and attended faculty development meetings.
本応募研究課題】基盤研究(C)(一般) Principal-Investigator	2011年4月~2014	Research Grant investigating Negotiation in Model United Nations.
Volume of Pragmatics and Language Learning. University of Hawai'i Press (reviewer).	2011年 6月	Reviewed papers for a journal.
2 nd Annual Japan University English Model United Nations (JUEMUN) Chair	2011年11月	Hosted and organized the JUEMUN a 2-day Model UN at Kobe Gaidai
#37 JALT Graduate School Showcase Chair	2011年11月	Coordinated organization of 12 domestic and international universities presentations at JALT.
Japan Model United Nations Association Advisor	2012年3月	With staff at the United Nations University in Tokyo supported student delegates attending the National Model United Nations in New York.
Harvard World Model United Nations Advisor	2012年3月	Observed and was a faculty advisor at the University Model United Nations with 2, 200 students from 65 countries and attended faculty development meetings.
3 rd Annual Japan University English Model United Nations (JUEMUN) Co-Organizer	2012年 7月	Co-organized the JUEMUN a 2-day Model UN at Kinki University
Co-organizer for the World Storytelling Conference	2012年 12月	Co-organized a three-day storytelling conference with 60 presentations and 5 plenary speakers.
Co-organizer for schools visits for International Storytellers	2012年 12月	Co-organized storytellers to present at junior and senior high schools and a university in Kobe and Kyoto.
Tsukuba Model United Nations Faculty Advisor	2013年2月	Co-organized the TUEMUN a 2-day Model UN at Tsukuba University
Japan Model United Nations Society Faculty Advisor	2013年2月	Critiqued presentations for the Japan Model UN Society going to the National Model United Nations in New York at the United Nations University, Tokyo.
National Model United Nations- New York Faculty Advisor	2013年3月	Faculty advisor with the Indian Delegation at the National Model Untied Nations in New York with Trier University (Germany) and Arcadia University Philadelphia

		(USA).
National Model United Nations-Inchon Korea Faculty Advisor	2013年 12月	Faculty advisor with the Azerbaijan Delegation of Kobe Gaidai at the National Model
		United Nations. We received a delegation award.
Japan Model United Nations Society Faculty Advisor	2014年2月	Critiqued presentations for the Japan Model UN Society going to the National Model
		United Nations in New York at the United Nations University, Tokyo.
National Model United Nations- New York Faculty Advisor	2014年 4月	Faculty advisor with the Ecuador Delegation at the National Model Untied Nations
		in New York with Trier University (Germany. We got 2 position paper and a delegation
		award
National Model United Nations-Rome Faculty Advisor	2014年 12月	Faculty advisor with the Ecuador Delegation at the National Model Untied Nations
		in New York with Trier University (Germany. We got 2 position paper and a delegation
		award
本応募研究課題】基盤研究(C)(一般) Principal-Investigator	2014年4月~2017	Research Grant investigating Negotiation in Model United Nations.
Kobe Gaidai Research Project Grant	2014年4月~2017	Negotiation is spoken interaction.

Ⅱ 研究活動

著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
第1年時 Super English Language High School (SELHi) 研究開発実施報告書	共著	2006年4月	京都外大西高等学校 京都外国語大学	LoriZenuk-Nishide, Hisao Maeda	125 頁
第 2 年時 Super English Language High School (SELHi)研究開発実施報告書	共著	2007年4月	京都外大西高等学校 京都外国語大学	Lori Zenuk-Nishide, Hisao Maeda	155 頁
Graduate Course for Recurrent Education on Weekends in 4 Semesters Report	共著	2009年3月	Kobe City University of Foreign Studies	Ken Tamai et. al	137 頁
Experiential Learning through Model United Nations: Phase 1	共著	2009年3月	外国学研究	Lori Zenuk-Nishide (Ed.)	60 頁
Experiential Learning through Model United Nations: Phase 2	共著	2011年3月	外国学研究	Lori Zenuk-Nishide (Ed.)	117 頁
文部科学省検定教科書 高等学校外国語 「英語 I」Mainstream English Communication I	共著	2012年2月	増進堂	Junichi Murata et.al	184 頁

文部科学省検定教科書 高等学校外国語 「英語 I」Newstream English Communication I	共著	2012年2月	増進堂	Junichiro Suzuki et. al	180 頁
Applying Language Science To Language Pedagogy	共著	2012 年	Cambridge Scholars	Montse Sanz & Jose Manuel Igoa (Eds.) et. al	293~320
文部科学省検定教科書 高等学校外国語 「英語 2」Mainstream English Communication 2	共著	2013年2月	増進堂	Junichi Murata et.al	176 頁
文部科学省検定教科書 高等学校外国語 「英語 2」Newstream English Communication 2	共著	2013年2月	増進堂	Junichiro Suzuki et. al	190 頁
文部科学省検定教科書 高等学校外国語 「英語 3」Mainstream English Communication 3	共著	2013年2月	増進堂	Junichi Murata et.al	160 頁
文部科学省検定教科書 高等学校外国語 「英語 3」Newstream English Communication 3	共著	2013年2月	増進堂	Junichiro Suzuki et. al	145 頁
Beyond the deficit model: Co-constructing team teaching to address learner goals and needs	共著	2016	In Akira Tajino, Tim Stewart and David Dalsky (Eds.) Team Teaching and Team Learning in the Language Classroom: Collaboration for Innovation in ELT, Taylor & Francis in Press	Francesco Bolstad & Lori Zenuk-Nishide	78 [~] 93
学術論文					
1. Super English Language High School Research Project How to Understand English by Studying Vocabulary	単著	2006年3月	Kizuna #13 京都外大西高校		
2. Staging Musicals with ESL/EFL Students	共著	2006年12月	Iteslj.org/indexPrev06.html	Lori Zenuk-Nishide, Andrea Paul	
3. Increasing Everyone's Vocabulary Size	単著	2007年2月	In Taishukan Eigo Kyoiku Vol.55 No.13		25~27
4. Teaching Culture in the Foreign Language Classroom.	共著	2007年3月	In SELL #23 京都外国語大学	Lori Zenuk-Nishide, Todd Thorpe	23~34
5. Framework for a Storytelling Festival	単著	2008年9月	In Kobe Gaidai Ronso Vol. 59 No. 5		129~147
6. The impact of learning contexts on proficiency, attitudes, and L2 communication: Creating an imagined international community	共著	2008年12月	In System, Vol. 36 No. 4	Tomoko Yashima , Lori Zenuk-Nishide	556~585

7. A Hybrid Late Partial-immersion Program in a Japanese High School	単著	2009年10月	In Kobe Gaidai Ronso, Vol. 60 No. 4		53~69
8. Formulaic Sequences to Initiate Negotiation in a Model United Nations.	単著	2009年9月	In Zenuk-Nishide, L. (Ed.) Experiential Learning through Model United Nations 外国学研究,查読無,77巻		39~60
9. A Case for Teaching High Frequency Vocabulary Deliberately and Incidentally	単著	2011年9月	In Kobe Gaidai Ronso, 62 No.1		105~120
Spoken Interaction through Discussion: Achievement Though a Focused Systemic-functional Approach	共著	2012年3月	In Zenuk-Nishide, L. (Ed.) Experiential Learning through Model United Nations 外国学研究,查読無, 82 巻 Andrea Paul, Lori Zenuk-Nishide.		19~48
11. EFL Student Learning from a Model United Nations Simulation	共著	2012年3月	In Zenuk-Nishide, L. (Ed.) Experiential Learning through Model United Nations 外国学研究,查読無, 82 巻	Lori Zenuk-Nishide, Donna Tatsuki	89~106
12. Plenary: The Place of Literature in the ELT Curriculum	共著	2012年8月	In Bibby, S. (Ed.) The Journal of Literature in Language Teaching, Vol. 1	Donna Tatsuki & Lori Zenuk-Nishide	38~40
13. Literary texts in ELT in Japan	共著	2012年8月	In Bibby, S. (Ed.) The Journal of Literature in Language Teaching, Vol. 1	Donna Tatsuki & Lori Zenuk-Nishide	40
14. Benefits of a Model United Nations	共著	2013年7月	JALT PANSig 2013 Lori Zenuk-Nishide, Donna Tatsuki		
15. Rationale and Theoretical Foundation for a Model United Nations	単著	2013年9月	In Kobe Gaidai Ronso Vol. 64 No. 2		33 [~] 52
15. Writing in the Japan University English Model United Nations	単著	2015年3月	In Kobe Gaidai Ronso in Press Vol. 65 No.4		131~148
16. With Challenge and Support Integrating Skills, Language and Content in a Literature Unit in EFL for Japanese Learners	単著	2015年12月	Donna Hurst Tatsuki (Ed.) In Storytelling: Repositioning Literary Texts in Language Teaching Kobe City University of Foreign Studies Annals Vol. 90		77~90
17. Reflections on a Model United Nations Simulation	単著	2016年12月	Donna Hurst Tatsuki (Ed.) Teaching Narratives In Kobe City University of Foreign Studies Journal of Research Institute Vol. 54		121-144

Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2007年4月~2008年3月	Kyoto Gaidai Nishi High School, SELHi Board of Directors				
2008年3月~2008年3月	Model United Nations Advisor Bonn, Trier and Erfurt University National Model United Nations, New York				
2008年6月~2011	Elementary Ed Interest Section of TESOL Proposal Reader				
2008年8月~2011	E2m Communications Board of Educators for ESL on TV				
2009年3月~	Japan Model United Nations Society Advisor, Tokyo				
2010年11月~	JUEMUN Model United Nations Conference Co- Founder. Co-organizer & Faculty Advisor				
2013年1月~2013年2月	Tsukuba University Model United Nations Advisor				
2013年3月~2013年3月	Model United Nations Advisor Kobe City University of Foreign Studies, Trier University and Arcadia University National Model United Nations, New York				
2013年 10月~2013年11月	Tsukuba University Model United Nations Advisor				
2013年 11月~2013年12月	National Model United Nations Korea Advisor for Kobe City University of Foreign Studies Delegation				
2014年3月~2013年3月	Model United Nations Advisor Kobe City University of Foreign Studies, Trier University and Arcadia University National Model United Nations, New York				
2014年8月~2017年3月~	National Model United Nations-Japan 2016 at Kobe Gaidai Project Leader				
2014年 11月~2013年12月	National Model United Nations Rome Advisor for Kobe City University of Foreign Studies Delegation				
2014年 12 月-2015年12月	Tsukuba University Model United Nations Advisor for Kobe Gaidai Delegation				
2013年 4月-2015年 4月	Meiji University Model United Nations Class Advisor				
2016年 4月-2017年-	National Model United Nations New York Advisory Board				
2016年 4月-2016年11月	National Model United Nations Advisor Kitakyushu University				
2016年 4-2016年 11月	National Model United Nations Kobe Japan Hyogo Consortium & Gaidai Rengo Advisor				
2017年3月-2015年3月	National Model UN New York Faculty Advisor KCUFS & Westfalische Hochschuled Delegations				